

(30) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金経営状況報告書

法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金
- 2 目 的 県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖及び水や魚に親しむ機会の提供の促進に関する事業を行い、魚の豊かな川づくりを推進し、もって本県の内水面漁業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月23日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立許可年月日
平成6年3月4日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立登記年月日
平成6年3月7日)
- 5 基本財産 578,000,000円
出えん金 600,000,000円
鳥取県出えん金 275,000,000円
関係市町村出えん金 200,000,000円
建設業協会出えん金 100,000,000円
漁業関係団体出えん金 25,000,000円
平成29年4月1日取崩し 4,000,000円
平成30年4月2日取崩し 9,000,000円
平成31年4月2日取崩し 9,000,000円
- 6 役員等 評議員 3人 理事 4人 監事 2人
評議員長 葉狩健一(元公益社団法人鳥取県観光連盟事務局長)
評議員 小野達也(国立大学法人鳥取大学地域学部教授)
" 中前雄一郎(元小学校校長)
代表理事 中田達彦(日吉津村長)

業務執行理事 岸 本 英 夫 (鳥取県農林水産部水産振興局長)
理 事 佐 藤 英 夫 (鳥取県内水面漁業協同組合連合会
長)
" 中 村 力 男 (一般社団法人鳥取県建設業協会専
務理事)
監 事 谷 村 定 彦 (鳥取市農林水産部長)
" 武 村 英 治 (鳥取県信用漁業協同組合連合会代
表監事)

7 職 員 3人 (うち県派遣職員 2人)

8 事 務 所 鳥取市東町一丁目220番地

平成30年度事業実施状況

1 増殖促進事業〈公益目的事業1〉

県内の河川及び湖沼における水産資源の保護増殖を促進するために、内水面の5つの漁業協同組合が実施する淡水魚介類(アユ、ヤマメ等)の種苗の放流及び水産資源の確保(産卵場造成、カワウの追払い等)のための事業に対して事業費の一部を助成した。

[助成実績]

- (1) 実施団体：千代川漁業協同組合
 - ・内容：アユ、ヤマメ及びイワナの種苗放流、アユの産卵場造成
 - ・事業費(うち助成費)：26,902,670円(2,083,000円)
- (2) 実施団体：天神川漁業協同組合
 - ・内容：アユなどの種苗放流、産卵場造成、カワウの追払い
 - ・事業費(うち助成費)：4,643,000円(1,166,000円)
- (3) 実施団体：日野川水系漁業協同組合
 - ・内容：アユ、ヤマメなどの種苗放流、産卵場造成、流下仔魚調査等
 - ・事業費(うち助成費)：44,962,212円(2,348,000円)
- (4) 実施団体：湖山池漁業協同組合
 - ・内容：フナの採卵・孵化放流、ウナギ稚魚などの放流、シジミ漁場清掃等
 - ・事業費(うち助成費)：619,209円(563,000円)
- (5) 実施団体：東郷湖漁業協同組合
 - ・内容：ウナギ及びフナの種苗放流、エビなどの産卵場造成、池の清掃等
 - ・事業費(うち助成費)：1,197,800円(665,000円)

2 ふれあい事業〈公益目的事業2〉

河川及び湖沼において水や魚に親しむ機会の提供の促進及び魚と川の自然に対する理解を深めるために、市町村、内水面漁業協同組合、非営利団体等が実施する魚のつかみ取り、放流等の14事業に対して、事業費の一部を助成した。当初、16事業に対して助成予定であったが、2事業は中止となった。

[助成実績]

- (1) 実施団体：鳥取市
 - ・内容：園児によるヤマメの稚魚の体験放流
 - ・事業費(うち助成費)：30,000円(15,000円)
- (2) 実施団体：八頭町
 - ・内容：町職員によるヤマメの稚魚の放流(高温のため、地元の園児による放流は中止)
 - ・事業費(うち助成費)：100,000円(50,000円)
- (3) 実施団体：若桜町
 - ・内容：園児などによるヤマメ及びイワナの稚魚の放流
 - ・事業費(うち助成費)：450,000円(50,000円)
- (4) 実施団体：国府マスつりフェスタ実行委員会
 - ・内容：参加者によるニジマスつり及びつかみ取り
 - ・事業費(うち助成費)：900,000円(50,000円)

- (5) 実施団体：佐治ふるさと祭り実行委員会
 ・内容：祭りの来場者によるヤマメつり及びつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：116,920円（50,000円）
- (6) 実施団体：用瀬宿活性化委員会
 ・内容：地域住民等によるヤマメつり及びつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：117,364円（50,000円）
- (7) 実施団体：智頭町親水公園連絡協議会
 ・内容：町内児童によるヤマメのつかみ取り、学習会
 ・事業費（うち助成費）：38,000円（19,000円）
- (8) 実施団体：大瀬区
 ・内容：地域住民等によるニジマスのつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：60,000円（30,000円）
- (9) 実施団体：小鹿地域協議会
 ・内容：地域住民等によるニジマスのつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：250,000円（50,000円）
- (10) 実施団体：高勢地域協議会
 ・内容：祭りの中で、地域住民等によるイワナのつかみ取り、魚の観察等
 ・事業費（うち助成費）：30,000円（15,000円）
- (11) 実施団体：竹田地域協議会
 ・内容：地域住民等によるヤマメのつかみ取り、魚の観察等
 ・事業費（うち助成費）：40,000円（15,000円）
- (12) 実施団体：みささ村地域協議会
 ・内容：地域住民等によるヤマメのつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：70,000円（35,000円）
- (13) 実施団体：江府町観光協会
 ・内容：祭りの参加者（小学生以下）によるアユのつかみ取り
 ・事業費（うち助成費）：160,000円（50,000円）
- (14) 実施団体：日野川水系漁業協同組合
 ・内容：地元の園児によるサケの稚魚放流
 ・事業費（うち助成費）：88,226円（44,000円）

3 普及啓発事業（公益目的事業3）

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、各関係者が情報共有できる機会となる講演会を開催するほか、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系のマップを作成することにより、水産資源の保護培養のための普及啓発を行った。

(1) 講演会の開催

「費用対効果の高いアユの種苗放流方法」をテーマとした講演会を鳥取県と共同開催した。

- ・ 目的：アユの種苗放流は全国の漁業協同組合で行われているものの、冷水病のまん延、カワウによる食害、河川環境の悪化等により、アユ資源の増殖は困難な状況にある。
こうしたアユにとって厳しい生息環境を考慮しつつ、放流を行う時期・場所・種苗サイズを最適化することで、アユの種苗放流の費用対効果を最大化する方法について先行事例等を知り、学び、今後の種苗放流に活かす。
- ・ 日時：平成30年9月5日（水）午後1時30分から午後3時30分まで
- ・ 場所：とりぎん文化会館 第2会議室（鳥取市尚徳町101-5）
- ・ 参加者：石操代表理事、小畑正一業務執行理事、武村英治監事 ほか漁業協同組合関係者、
県・市町村関係者等 約60名
- ・ 次第：① 開会挨拶 石操氏（日吉津村長、川づくり基金代表理事）
② 調査発表 「アユ資源緊急回復試験」の進捗
発表者 田中靖氏（鳥取県栽培漁業センター研究員）
③ 講演 「費用対効果の高いアユの種苗放流方法」
講師 坪井潤一氏（国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所
内水面研究センター主任研究員）
④ 質疑応答
⑤ 閉会

(2) マップの作成

現在基金が作成している県内の天神川及び日野川水系川マップ、湖山池マップを最新の情報に修正し、各関係機関に配布した。（作成部数：3, 550部）

- ・ 配布先：県内の市町村、遊漁証取扱先、内水面漁業協同組合
- ・ 事業費：59, 988円

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	162,353	4,618,289	△ 4,455,936
基本財産受取利息	162,353	4,618,289	△ 4,455,936
雑収益	117	142	△ 25
受取利息	117	142	△ 25
基本財産取崩収入	9,000,000	4,000,000	5,000,000
取崩収入	9,000,000	4,000,000	5,000,000
受取補助金	408,000	501,000	△ 93,000
県補助金	408,000	501,000	△ 93,000
経常収益計	9,570,470	9,119,431	451,039
(2) 経常費用			
事業費	9,303,810	9,081,272	222,538
助成費	7,348,000	7,431,000	△ 83,000
給料手当	1,546,944	1,218,288	328,656
福利厚生費	210,871	208,112	2,759
旅費交通費	675	0	675
通信運搬費	55,987	83,668	△ 27,681
印刷製本費	59,988	57,732	2,256
光熱水料費	9,942	10,859	△ 917
賃借料	71,403	71,613	△ 210
管理費	529,067	470,256	58,811
給料手当	386,736	304,572	82,164
福利厚生費	52,717	52,028	689
旅費交通費	34,375	57,020	△ 22,645
通信運搬費	13,997	23,357	△ 9,360
消耗品費	4,991	4,913	78
光熱水料費	2,485	2,715	△ 230
賃借料	17,851	17,903	△ 52
食糧費	14,335	6,168	8,167
雑費	1,580	1,580	0
経常費用計	9,832,877	9,551,528	281,349
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 262,407	△ 432,097	169,690
基本財産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 262,407	△ 432,097	169,690
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 262,407	△ 432,097	169,690
一般正味財産期首残高	2,767,722	3,199,819	△ 432,097
一般正味財産期末残高	2,505,315	2,767,722	△ 262,407
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	162,353	4,618,289	△ 4,455,936
基本財産取崩収入	9,000,000	4,000,000	5,000,000
一般正味財産への振替額	△ 9,162,353	△ 8,618,289	△ 544,064
当期指定正味財産増減額	△ 9,000,000	△ 4,000,000	△ 5,000,000
指定正味財産期首残高	596,000,000	600,000,000	△ 4,000,000
指定正味財産期末残高	587,000,000	596,000,000	△ 9,000,000
III 正味財産期末残高	589,505,315	598,767,722	△ 9,262,407

正味財産増減計算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	公1:増殖促進事業	公2:ふれあい事業	公3:普及啓発事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	146,118	146,118	16,235		162,353
基本財産受取利息				146,118	146,118	16,235		162,353
雑収益	0	0	0	0	0	117		117
受取利息					0	117		117
基本財産取崩収入	0	0	0	8,100,000	8,100,000	900,000		9,000,000
取崩収入				8,100,000	8,100,000	900,000		9,000,000
受取補助金	0	408,000	0	0	408,000	0		408,000
県補助金		408,000			408,000			408,000
経常収益計	0	408,000	0	8,246,118	8,654,118	916,352	0	9,570,470
(2) 経常費用								
事業費	7,061,893	996,787	1,245,130	0	9,303,810			9,303,810
助成費	6,825,000	523,000			7,348,000			7,348,000
給料手当	193,368	386,736	966,840		1,546,944			1,546,944
福利厚生費	26,359	52,718	131,794		210,871			210,871
旅費交通費			675		675			675
通信運搬費	6,998	13,997	34,992		55,987			55,987
印刷製本費			59,988		59,988			59,988
光熱水料費	1,243	2,485	6,214		9,942			9,942
賃借料	8,925	17,851	44,627		71,403			71,403
管理費						529,067		529,067
給料手当						386,736		386,736
福利厚生費						52,717		52,717
旅費交通費						34,375		34,375
通信運搬費						13,997		13,997
消耗品費						4,991		4,991
光熱水料費						2,485		2,485
賃借料						17,851		17,851
食糧費						14,335		14,335
雑費						1,580		1,580
経常費用計	7,061,893	996,787	1,245,130	0	9,303,810	529,067	0	9,832,877
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,061,893	△ 588,787	△ 1,245,130	8,246,118	△ 649,692	387,285	0	△ 262,407
基本財産評価損益等								
投資有価証券評価損益等								
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,061,893	△ 588,787	△ 1,245,130	8,246,118	△ 649,692	387,285	0	△ 262,407
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 7,061,893	△ 588,787	△ 1,245,130	8,246,118	△ 649,692	387,285	0	△ 262,407
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	2,767,722		2,767,722
一般正味財産期末残高	△ 7,061,893	△ 588,787	△ 1,245,130	8,246,118	△ 649,692	3,155,007	0	2,505,315
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	146,118	146,118	16,235		162,353
基本財産取崩収入	0	0	0	8,100,000	8,100,000	900,000		9,000,000
一般正味財産への振替額				△ 8,246,118	△ 8,246,118	△ 916,235		△ 9,162,353
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 8,100,000	△ 8,100,000	△ 900,000		△ 9,000,000
指定正味財産期首残高				536,400,000	536,400,000	59,600,000		596,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	528,300,000	528,300,000	58,700,000		587,000,000
III 正味財産期末残高	△ 7,061,893	△ 588,787	△ 1,245,130	536,546,118	527,650,308	61,855,007	0	589,505,315

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金（普通預金）	4,459,979	4,589,566	△ 129,587
未収金	408,000	501,000	△ 93,000
前払金	0	2,988	△ 2,988
流動資産合計	4,867,979	5,093,554	△ 225,575
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金（定期預金）	587,000,000	296,000,000	291,000,000
現金預金（普通預金）	0	300,000,000	△ 300,000,000
基本財産合計	587,000,000	596,000,000	△ 9,000,000
固定資産合計	587,000,000	596,000,000	△ 9,000,000
資産合計	591,867,979	601,093,554	△ 9,225,575
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,358,764	2,325,832	32,932
預り金	3,900	0	3,900
流動負債合計	2,362,664	2,325,832	36,832
負債合計	2,362,664	2,325,832	36,832
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
現金預金（定期預金）	587,000,000	296,000,000	291,000,000
現金預金（普通預金）	0	300,000,000	△ 300,000,000
指定正味財産合計	587,000,000	596,000,000	△ 9,000,000
(うち基本財産への充当額)	(587,000,000)	(596,000,000)	(△ 9,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	589,505,315	598,767,722	△ 9,262,407
負債及び正味財産合計	591,867,979	601,093,554	△ 9,225,575

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 移動平均法による原価法によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金 (鳥取県信用漁業協同組合連合会)	296,000,000	587,000,000	296,000,000	587,000,000
普通預金 (鳥取県信用漁業協同組合連合会)	300,000,000	296,000,000	596,000,000	0
小 計	596,000,000	883,000,000	892,000,000	587,000,000
合 計	596,000,000	883,000,000	892,000,000	587,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金 (鳥取県信用漁業協同組合連合会)	587,000,000	(587,000,000)	(0)	-
小 計	587,000,000	(587,000,000)	(0)	-
合 計	587,000,000	(587,000,000)	(0)	-

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
平成30年度魚を育む 内水面漁業活動支援事業	鳥取県	0	408,000	408,000	0	流動資産
合 計		0	408,000	408,000	0	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	162,353
基本財産取崩収入	9,000,000
合 計	9,162,353

(5) 附属明細書

附属明細書

1. 基本財産の明細

基本財産の明細については、上記財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	運転資金として	4,459,979
	未収金	鳥取県	平成30年度ふれあい事業助成費として (平成30年度魚を育む内水面漁業活動支 援事業費補助金)	408,000
流動資産合計				4,867,979
(固定資産)	基本財産 預金	定期預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	528,300,000
	預金	定期預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	58,700,000
固定資産合計				587,000,000
資産合計				591,867,979
(流動負債)	未払金	NTTファイナンス(株)に 対する未払額	NTT西日本等利用料(3月分)未払い分	5,832
		鳥取労働局	概算払済み平成30年度労働保険料確定に よる不足額	4,932
		日野川水系漁業協同組合に 対する未払額	平成30年度増殖促進事業助成費未払い分	2,348,000
	預り金	職員からの預り額	源泉所得税(1~3月分)	3,900
流動負債合計				2,362,664
負債合計				2,362,664
正味財産				589,505,315

令和元年度事業計画

1 増殖促進事業〈公益目的事業1〉

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、シジミ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成、カワウ被害防除等）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は種苗放流水産資源の確保のための事業を併せて実施することを採択条件としている。

[令和元年度の各内水面漁協への助成額（総額：7,820,000円）]

内水面漁協名	助成額	内水面漁協名	助成額
千代川漁業協同組合	2,425,000円	湖山池漁業協同組合	637,000円
天神川漁業協同組合	1,335,000円	東郷湖漁業協同組合	771,000円
日野川水系漁業協同組合	2,652,000円		

2 ふれあい事業〈公益目的事業2〉

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取りや魚の放流等を行う下記15実施主体が実施する事業に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は前年度中に公募し、応募のあった事業について、審査・選定を行い、助成先及び助成額を決定している。

[令和元年度の各実施主体への助成上限額（総額：609,000円）]

事業実施主体名	助成上限額	事業実施主体名	助成上限額
鳥取市	15,000円	大瀬区	40,000円
八頭町	50,000円	小鹿地域協議会	50,000円
若桜町	50,000円	高勢地域協議会	15,000円
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000円	竹田地域協議会	20,000円
国府マ스つりフェスタ実行委員会	50,000円	みささ村地域協議会	25,000円
小鷲河ふる里をまもる会	50,000円	江府町観光協会	50,000円
佐治ふるさと祭り実行委員会	50,000円	日野川水系漁業協同組合	44,000円
用瀬宿活性化委員会	50,000円		

3 普及啓発事業〈公益目的事業3〉

(1) 講演会の開催

内水面漁業振興の一助とするため、県外の知見を学び今後の対策に活かす講演会を、県の水産課と連携して開催する。当該年度は、引き続きアユ資源の回復に向けて、アユの再生産に繋げるための現場での効果的な取組事例等について県外から講師を招き講演いただく。

また、次年度事業の実施の際の参考とするため、引き続きアンケートを実施する。

(2) マップの作成（3,000部程度作成予定）

現在基金が作成している、県内の主要2河川2湖沼（※）における各釣り場や規則等を掲載した「マップ」を最新の情報に修正し、市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協に無償配布する。

なお、マップは、不特定多数の方が幅広く活用できるよう当基金のホームページにも掲載する。

※マップは3種類→天神川（東郷湖含）水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ

収 支 予 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	645	162	483	
基本財産受取利息	645	162	483	定期預金
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	普通預金
基本財産取崩収入	9,000	9,000	0	
取崩収入	9,000	9,000	0	
受取補助金	494	514	△ 20	
県補助金	494	514	△ 20	ふれあい民間団体分
経常収益計	10,140	9,677	463	
(2) 経常費用				
事業費	10,599	9,467	1,132	
助成費	8,429	7,454	975	
給料手当	1,680	1,552	128	*: 共通経費
福利厚生費	264	240	24	*
旅費交通費	5	5	0	
通信運搬費	60	60	0	*
印刷製本費	65	60	5	
光熱水料費	13	13	0	*
賃借料	80	80	0	*
雑費	3	3	0	
管理費	644	590	54	
給料手当	420	388	32	*
福利厚生費	66	60	6	*
旅費交通費	60	75	△ 15	
通信運搬費	15	18	△ 3	*
消耗品費	20	5	15	
光熱水料費	3	3	0	*
賃借料	20	20	0	*
食糧費	35	16	19	
雑費	5	5	0	
経常費用計	11,243	10,057	1,186	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,103	△ 380	△ 723	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 1,103	△ 380	△ 723	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,103	△ 380	△ 723	
一般正味財産期首残高	2,501	2,748	△ 247	
一般正味財産期末残高	1,398	2,368	△ 970	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	645	162	483	
一般正味財産への振替額	△ 9,645	△ 9,162	△ 483	
当期指定正味財産増減額	△ 9,000	△ 9,000	0	
指定正味財産期首残高	587,000	596,000	△ 9,000	
指定正味財産期末残高	578,000	587,000	△ 9,000	
III 正味財産期末残高	579,398	589,368	△ 9,970	

収支予算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	※1:増殖促進事業	※2:ふれあい事業	※3:普及啓発事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	581	581	64		645
基本財産受取利息	0	0	0	581	581	64		645
雑収益	0	0	0	0	0	1		1
受取利息	0	0	0	0	0	1		1
基本財産取崩収入	0	0	0	8,100	8,100	900		9,000
取崩収入	0	0	0	8,100	8,100	900		9,000
受取補助金	0	494	0	0	494	0		494
県補助金	0	494	0	0	494	0		494
経常収益計	0	494	0	8,681	9,175	965		10,140
(2) 経常費用								
事業費	8,082	1,133	1,384	0	10,599			10,599
助成費	7,820	609	0	0	8,429			8,429
給料手当	210	420	1,050	0	1,680			1,680
福利厚生費	33	66	165	0	264			264
旅費交通費	0	0	5	0	5			5
通信運搬費	7	15	38	0	60			60
印刷製本費	0	0	65	0	65			65
光熱水料費	2	3	8	0	13			13
賃借料	10	20	50	0	80			80
雑費	0	0	3	0	3			3
管理費						644		644
給料手当						420		420
福利厚生費						66		66
旅費交通費						60		60
通信運搬費						15		15
消耗品費						20		20
光熱水料費						3		3
賃借料						20		20
食糧費						35		35
雑費						5		5
経常費用計	8,082	1,133	1,384	0	10,599	644		11,243
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 8,082	△ 639	△ 1,384	8,681	△ 1,424	321		△ 1,103
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 8,082	△ 639	△ 1,384	8,681	△ 1,424	321		△ 1,103
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	2,501		2,501
一般正味財産期末残高	△ 8,082	△ 639	△ 1,384	8,681	△ 1,424	2,822		1,398
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	581	581	64		645
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 8,681	△ 8,681	△ 964		△ 9,645
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 8,100	△ 8,100	△ 900		△ 9,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	528,300	528,300	58,700		587,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	520,200	520,200	57,800		578,000
III 正味財産期末残高	△ 8,082	△ 639	△ 1,384	528,881	518,776	60,622		579,398